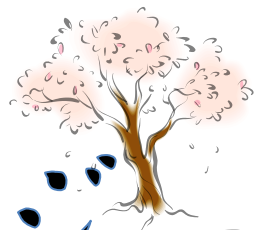


# 4年生からの ラスト・メッセージ



## 主将・笠間将裕



「(主将としてのこの1年間は)僕の場合は、みんながキャプテンを1人にしないみたいな雰囲気があったので。メンバー外の人も含めて、全員がチームを引っ張ってくれた。(印象に残っている試合は)1部昇格が決まった試合!この日を夢見て辛いことも耐えてきた!(駒大野球部とは)家族!修業の場。(新チームに期待したいことは)もう今まで2部で苦しんできたチーム。きれいなプレーはいらぬ、泥まみれになって野球をやってきた。3年生はそれを知っている。3年生が引っ張ることを期待したい。(後輩に伝えたいことは)プレッシャーに打ち勝ち、みんなで支え合って頑張れ!!お前らならできる!(後輩に残せたと思うことは)僕自身は何かやった訳ではないし、後輩たちに1部でやらせてあげたいという、その気持ちだけでやっていた。そういう姿を見て何か感じてくれればと思う。(小椋監督には)我慢して僕みたいな選手を使ってくれた。1年生の時から色々話を聞かせてもらえたと、恩返しがしたかった。最低限のことはできたと思う。(社会人野球での目標は)日立製作所硬式野球部を日本一にすること。(同期に対して一言)本当に感謝している。ありきたりだけど…ありがとうの言葉しか浮かばない」



「(1部復帰を決めた後、ベンチ裏で白崎勇と抱き合っていたが)お前のおかげで勝てたよって伝えた。(1部復帰は)良かった。本当に良かった。上がれて引退できるのは幸せ。いい仲間にも恵まれた。(4年間で振り返って)きついこともあって、悩んだことも多かったけど、支えられながらここまでやる事ができた。(4年生としての1年間は)けがをして全然投げられなくて、悔しい思いもなかったけど、どうにか最後に投げられて良かった。(思い出に残っている試合は)今日(国土大2回戦)でしょ。(笑)(駒大野球部とは)…仲間。(後輩に期待したいことは)とにかく1部優勝。そのためにしっかり練習してほしい。(後輩に伝えたいことは)気を抜くな。ここが最低ラインだから。もう一回引き締めて。(後輩に残せたことは)うーん、とにかく相手に向かっていく。ピッチャーとして。(卒業後の進路は)日本通運。(チームメイトに対して一言)ありがとう」

## 副主将・加茂勇作



## 副主将・上村新



「(4年間で振り返って)3年分くらいしんどかった。けど、最後に1部昇格できたので。昇格で喜んではいけぬけど、いい形で終わったので報われた気持ちはある。(4年生としてのこの1年間は)ゼロから始まったチームなので、あっという間に終わった感じ。内容が濃い1年間だった。(印象に残っている試合は)最後までそうだけど、随所随所である。2部降格した試合なんかはインパクトがあったし、初スタメンの試合も思い入れがある。ただ、悪い思い出の方が多いかな。(新チームに期待したいことは)1部で春を迎えられるけど、厳しいってことはみんな自覚していると思う。3年生以下は1部をほとんど知らないし。ただ、今年良かったことを引き継いで、自分たちの色をつけていけば、いいチームになって勝てると思う。(自分がチームに残せたと思うことは)ポジションがキャッチャーなので、キャッチャーの選手には色々教えたつもり。あとは試合に出て経験を積みあげ。あと、僕みたいな失敗をしなければ、大変なことにはならないよってこと(笑)。(卒業後の進路は)日立。(小椋監督には)監督が監督になられた時に僕らも入ったので、いい思い出をしてもらいたかったんですけど。終わってみれば、監督が僕らをかばってくれたし、教わる部分も多々あった。成長させて頂いたし、感謝している。(同期に対して一言)新チームになってぶつかるかことが多々あったけど、それがあったから最後までまって、チーム一丸となって戦えたと思う。僕はたまたま試合に出られたけど、出られない選手とかも本当に一生懸命やってくれたんで頑張れた。いい仲間にも恵まれたと思うし、みんながいなかったら、こんな充実した大学生活はなかったと思う」

「(1部復帰は)めっちゃうれしい。…やばい!それしか言うことない!(4年間は)主務やったのは2年からだけど、楽しいことはなかった。苦しいことの方が多くて。8:2くらいの割合で苦しかった。(具体的には)上が抜けて自分がやらないといけなくて。自分なりに考えないといけなかったし。(うれしかったことは)今の代で優勝できたことが一番。みんなに感謝。とくに(女子マネージャーの)2人には感謝。ありがとう以上。本当ありがとうじゃ足りない。(主務としての1年間は)ハード。チーム行事が多くて。全日本に世界大会。でも経験させてもらっていい勉強になった。(入替戦で加茂には)降板した時にお疲れさんって。さすがだねって言った。まさか加茂が投げると思ってなかったから、あの14番はうれしかった。(駒大野球部とは)1番いい経験をしたところ。マネージャーやったのも運命だろうし、このチームでできて幸せ。(後輩には)いい球場だしやるだけやってもらいたい。俺らの代で残したものを受け継いでね。(同期に対して一言)ありがとうしかない」



## 主務・山崎諒二